

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	6-1-6-4
事務事業名 住民基本台帳管理事業（住民異動処理）				部等名	生活福祉部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	市民課
	一般	01-020301003	細々目名	係等名	市民窓口係
政策体系	基本目標	6	その他		
	施策	1	その他		
	基本事業名	6	窓口サービスの充実		

事業概要 実施内容	住民基本台帳に基づく各種届出の受理、整備、証明の作成				
根拠法令等	住民基本台帳法	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> その他事業		
		評価区分	<input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定（年度～年度）		
決算額	1 報酬	0円	11 消耗品費	272,154円	15 工事請負費 円
	7 賃金	円	12 役務費	162,741円	18 備品購入費 円
	8 報償費	円	13 委託料	3,735,001円	19 負担金補助及び交付金 円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	189,000円	合計 4,358,896円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象（誰を、何を）		住民票登録者	
手段（事業の具体的な内容、手順等）	住民基本台帳に基づく各種届出の受理、整備、証明の作成。	活動指標名・式（アウトプット）	活動の大きさを表す指標
		指標 (1) 名称 住基人口	式 人
		指標 (2) 名称 届出件数	式 件
意図（対象を、どのような状態にしたいのか）	行政事務の基礎である住民基本台帳の正確性を保つこと及び各届出書、申請書等の適正な管理を行う。	成果指標名・式（アウトカム）	意図の達成度を表す指標
		指標 (1) 名称 届出件数÷住基人口	式 %
		指標 (2) 名称	式
事務事業を実施（意図を実現）することで、施策にどのように貢献していますか			
行政事務の基礎である住民基本台帳の正確性を保つこと及び各届出書、申請書等の適正な管理を行うことにより行政事務の効率化が図られる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度（実績）	年度（実績）	18年度（実績）	19年度（実績）	20年度（見込み）	年度（最終目標）
指標	活動指標（1）	人			31734	31734	
	活動指標（2）	件			2997	3000	
	成果指標（1）	%			9.4	9.4	
	成果指標（2）						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円			4359	4359
		一般財源	千円				
	事業費計（A）	千円			4,359	4,359	
	職員数	人			1	1	
	人件費	千円			8,373	8,373	
人件費計（B）	千円			8,373	8,373		
総事業費（A+B）	千円			12,732	12,732		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか？
みずきが丘の団地造成の完了により約300世帯が増加し、それに伴う転入、転居、転籍等の届出が増えた。
この事業に対して、関係者（市民・議会・事業対象者・利害関係人等）からどんな意見や要望が寄せられていますか？
みずきが丘の転入、転居により即住民票、印鑑証明の交付申請があり窓口での混乱がある。

2. 事務事業の評価 (Check)

[ 目的妥当性評価 ]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
各届出書、申請書等の適正な管理を行うことにより行政事務の効率化が図られる		住民基本台帳法で、市町村の責務となっている
対象・意図は妥当である。		
[ 有効性評価 ]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
繁忙期の待ち時間短縮に努める		市町村の責務となっている
既に市民サービスの観点から総合窓口 に統合済		
[ 効率性評価 ]		[ 公平性評価 ]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
住民基本台帳関係の大部分は委託料で占められており、施設管理課で一括契約して削減の余地はない		毎日、住民基本台帳に基づく各種届出が多くあり、その処理に時間をついやし人数不足の状態である
各市町村の手数料を比べると本市より高いところはあまりない		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	新しい住所の地番確認は、以前は税務課に照会していたが、合併後は、窓口で確認ができ待時間の短縮になったが、世帯番号については、旧白沢分が連番になっていないため支所に確認している状態である																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
住民異動届は個人情報に関することが多いため、受付時の適切な事務処理と本人確認を徹底して行う。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
平成20年5月の住民基本台帳法の改正で本人確認は法に定められたが、税の滞納やサラ金の関係で住所を異動させない市民が多く実態調査等を実施し行政事務の効率化を図る。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						